



**2020年3月期 第3四半期決算説明  
ご参考資料**

2020年1月31日  
日本通運 株式会社  
経営企画部 IR推進室

# 目次

## I. 2020年3月期 第3四半期業績

A. 2020年3月期 第3四半期業績概要	P.2
B. セグメント別実績	P.3
C. 外部環境の変化およびその他の変動要素	P.4-
D. 売上高・営業利益増減内訳	P.6-

## II. 2020年3月期 業績予想

A. 連結業績予想(修正後)	P.8
B. セグメント別予想(修正後)	P.9-
C. 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)	P.11-
D. 売上高・営業利益増減内訳	P.13-

## III. 2020年3月期 セグメント概況

A. 日本セグメント	P.15
B. 米州セグメント	P.16
C. 欧州セグメント	P.17
D. 東アジアセグメント	P.18
E. 南アジア・オセアニアセグメント	P.19
F. 警備輸送セグメント	P.20
G. 重量品建設セグメント	P.21
H. 物流サポートセグメント	P.22

## 補足資料

(補足1) 日本発 輸出航空貨物 重量動向	P.24
(補足2) 日本セグメント内 事業別営業利益増減(FY2019 3Q累計)	P.25
(補足3) 輸出貨物動向(航空)	P.26
(補足4) 輸出貨物動向(海運)	P.27
(補足5) 個別費用増減(FY2019 3Q累計)	P.28
(補足6) イタリアでの3社経営統合	P.29

# I. 2020年3月期 第3四半期業績

## A 2020年3月期 第3四半期業績概要

### 1. 概要(連結)

(単位: 億円、%)

項目	2020/3期 3Q累計 実績	2019/3期 3Q累計 実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	通期予想 (10/31発表)	差額	進捗率
売上高	15,666	16,007	△340	△2.1	21,100	△5,433	74.2
営業利益	450	594	△144	△24.2	680	△229	66.2
経常利益	505	651	△146	△22.4	730	△224	69.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	312	405	△92	△22.8	450	△137	69.5

### 2. 連結経営指標

(億円未満切捨て)

- 売上高営業利益率 2.9% (3.7%)
  - 売上高経常利益率 3.2% (4.1%)
- ( )は、前年同期実績
- 【ご参考】 ( )は前年度末実績
- ROA 2.6% (3.2%)
  - ROE 7.2% (9.2%)

(注) 当期純利益は通期予想、自己資本および総資産は、前連結会計年度末と当期連結会計期間の平均値を使用し、算出しております。

- ・営業外損益は、為替差損などで、△2億円
- ・特別損益は、政策保有株式売却益はあったものの、固定資産の処分損もあり、△17億円
- ・国内貨物、国際貨物とも、荷動きは、総じて厳しい状況で推移
- ・下期に入り、景況感の悪化により、超勤削減については、第3四半期単四半期で、11億円の効果があったものの日本・海外に及び、連結の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、第3四半期累計で、前年と比較してそれぞれ減収・減益。

# I. 2020年3月期 第3四半期業績

## B セグメント別実績

(単位: 億円、%)

セグメント	項目	2020/3期 3Q累計 実績	2019/3期 3Q累計 実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	通期予想 (10/31発表)	差額	進捗率
日本	売上高	9,185	9,504	△318	△3.4	12,408	△3,222	74.0
	セグメント利益	324	426	△102	△24.1	493	△168	65.7
米州	売上高	697	724	△26	△3.7	937	△239	74.4
	セグメント利益	26	34	△7	△21.7	39	△12	68.3
欧州	売上高	883	834	48	5.8	1,199	△315	73.6
	セグメント利益	16	11	4	39.2	28	△11	58.8
東アジア	売上高	840	896	△55	△6.2	1,140	△299	73.7
	セグメント利益	24	19	4	25.1	31	△6	79.4
南アジア・ オセアニア	売上高	671	680	△9	△1.4	906	△234	74.1
	セグメント利益	24	29	△5	△17.6	33	△8	73.6
警備輸送	売上高	546	540	5	1.0	729	△182	75.0
	セグメント利益	△15	6	△21	—	△12	△3	—
重量品建設	売上高	414	369	45	12.3	500	△85	82.9
	セグメント利益	50	36	14	38.8	51	△0	99.3
物流 サポート	売上高	3,482	3,567	△85	△2.4	4,748	△1,265	73.3
	セグメント利益	85	91	△6	△6.8	129	△43	65.9

(億円未満切捨て)

# I. 2020年3月期 第3四半期業績

## C 外部環境の変化およびその他の変動要素

変動要素	連結業績への影響 (第3四半期累計)	参考
燃油費単価変動による影響	営業利益 + <b>7.1</b> 億円 (費用減) ※3Q単四半期 : +3.9 億円(費用減) 2Q累計: +3.1 億円(費用減)	1ℓあたりの単価 (前年同期/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>軽油 : 100.40円( 105.61円/99.70円)</li> <li>ガソリン : 134.46円( 138.90円/134.30円)</li> <li>船舶重油: 53.72円( 57.04円/51.60円)</li> </ul>
為替による影響	売上高 △ <b>104.3</b> 億円 営業利益 △ <b>3.5</b> 億円 ※3Q単四半期 : 売上高 △54.0億円 : 営業利益 △1.8億円 2Q累計: 売上高 △50.3億円 : 営業利益 △1.6億円	累計期間平均為替レート※(前年同期/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>USD : 109.15円( 109.61円/108.80円)</li> <li>EUR : 122.66円( 130.97円/121.50円)</li> <li>HKD : 13.92円( 13.98円/ 13.80円)</li> <li>RMB : 15.90円( 16.85円/ 15.70円)</li> </ul> ※「累計期間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。
退職給付会計の数理差異償却額の増加	営業利益 △ <b>13</b> 億円 *3Q単四半期: △ 4.4億円 2Q累計: △ 8.6億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 10.3 億円</li> <li>警備輸送 : △ 2.2 億円</li> <li>重量品建設 : △ 0.3 億円</li> </ul>

# I. 2020年3月期 第3四半期業績

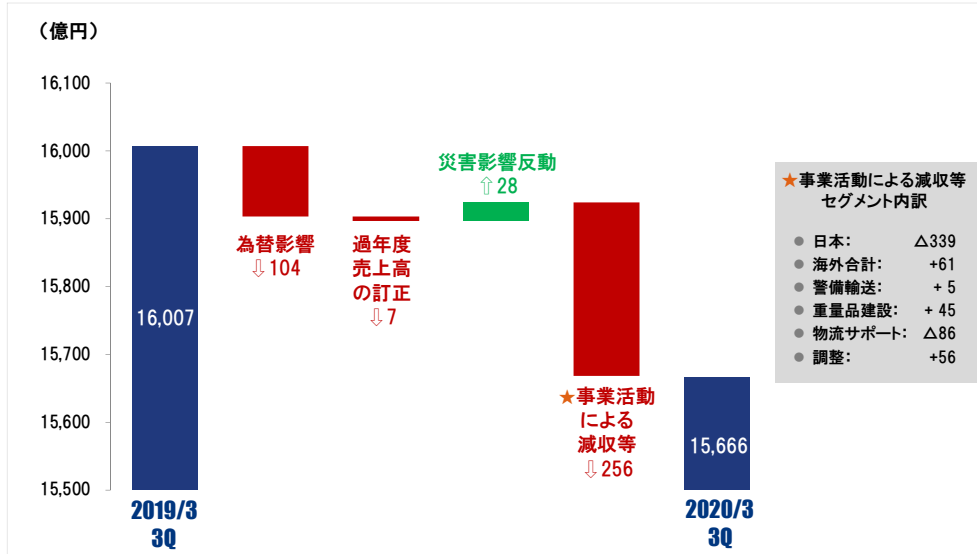
## C 外部環境の変化およびその他の変動要素

変動要素	連結業績への影響 (第3四半期累計)	参考
災害による影響 (前年特殊要因)	営業利益 + <b>10.1</b> 億円 *3Q単四半期: +1.0億円 2Q累計: + 9.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : + 10.1億円(3Q累計)</li> </ul>
社員制度改革に伴う増減	営業利益 Δ <b>38.4</b> 億円 ※3Q単四半期: Δ 17.2億円 2Q累計: Δ 21.2億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 25.8億円</li> <li>警備輸送 : Δ 12.4億円</li> <li>重量品建設 : Δ 0.2億円</li> </ul>
環境投資	営業利益 Δ <b>2.6</b> 億円 ※3Q単四半期: Δ 0.2億円 2Q累計: Δ 2.4億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 2.6 億円(3Q累計)</li> </ul>
賞与支給対象期間の変更の影響	営業利益 Δ <b>46.3</b> 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 35.4 億円(1Q)</li> <li>警備輸送 : Δ 9.7 億円(1Q)</li> <li>重量品建設 : Δ 1.1 億円(1Q)</li> </ul>
退職金規程の変更の影響	営業利益 + <b>7.2</b> 億円 ※3Q単四半期: 3.4億円 2Q累計: 3.8億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : + 6.5 億円(3Q累計)</li> <li>警備輸送 : + 0.4 億円(3Q累計)</li> <li>重量品建設 : + 0.2 億円(3Q累計)</li> </ul>
過年度売上高の過大処理訂正	売上高、営業利益 Δ <b>7.8</b> 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 7.8 億円(2Q)</li> </ul>

# I. 2020年3月期 第3四半期業績

## D 売上高・営業利益増減内訳

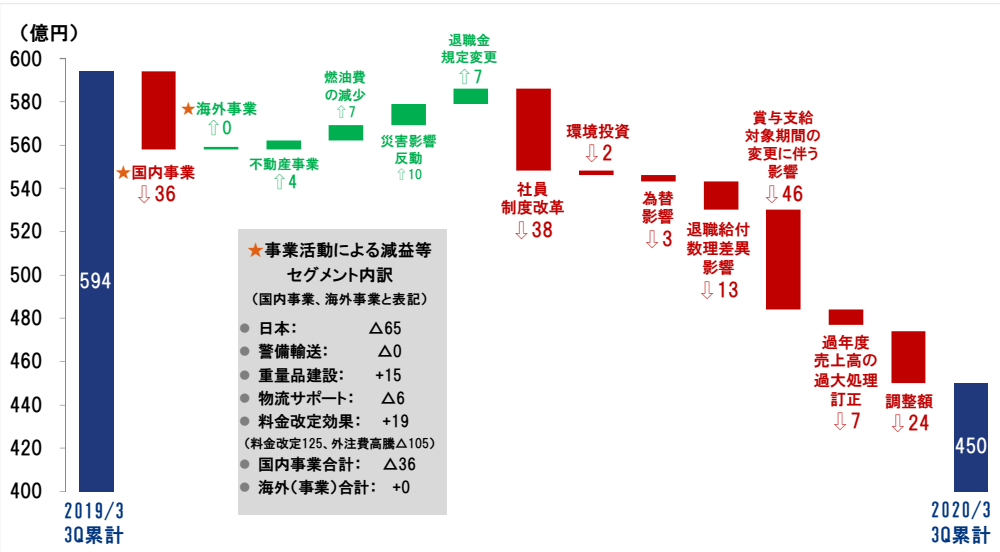
### 1. 売上高



# I. 2020年3月期 第3四半期業績

## D 売上高・営業利益増減内訳

### 2. 営業利益





## II. 2020年3月期 業績予想

### A 連結業績予想(修正後)

(単位:億円)

項目	通期予想 (1/31発表)	2019/3期 実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	通期予想 (10/31発表)	増減額 (増減率)
売上高	20,800	21,385	△585	△2.7	21,100	△300 (△1.4)
営業利益 (営業利益率)	600 (2.9)	795 (3.7)	△195	△24.6	680	△80 (△11.8)
経常利益	650	858	△208	△24.2	730	△80 (△11.0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	400	493	△93	△18.9	450	△50 (△11.1)

項目	上期	下期		
	2020/3 実績	1/31予想	10/31予想	増減額 (増減率)
売上高	10,389	10,410	10,710	△300 (△2.8)
営業利益 (営業利益率)	291 (2.8)	308 (3.0)	388 (3.6)	△80 (△20.6)

(億円未満切捨て)

- ・通期業績を下方に修正。
- ・内容は、売上高につきまして、第3四半期までの実績をもとに、2兆800億円とし300億円下方に修正。
- ・営業利益は 600億円、経常利益は 650億円、当期純利益は 400億円としそれぞれ下方に修正。
- ・営業利益は、第2四半期までに、期首の予想から、21億円の増益となったが、第3四半期には、日本・海外における景況感の大幅な悪化により、お客様の荷動きの減速に拍車がかかり、連結での売上高・営業利益とも、前同を大きく下回った。
- ・第4四半期以降の需要見通しにつきましても製造業・非製造業とも、厳しい状況が続く見通し。
- ・日本では 当社の川上産業のお客様の荷動きの鈍化や、電機電子・自動車・汎用機械などの売上高の減少が鮮明となっており、今回の業績予想に織り込んだ。
- ・超勤削減については通期見通しでは、35億円の増益効果を見込む
- ・海外については、前回予想で懸念していた景況感の悪化が、10月以降より鮮明となっている。特に、米州・欧州では、年末にかけての需要の減少が大きく、海外全体での営業利益予想を前回予想からさらに下方に修正。

## II. 2020年3月期 業績予想

### B セグメント別予想(修正後)

(単位: 億円)

セグメント	項目	通期予想 (1/31発表)	2019/3期 実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	通期予想 (10/31発表)	差額
日本	売上高	12,196	12,568	△372	△3.0	12,408	△212
	セグメント利益	440	559	△119	△21.4	493	△53
米州	売上高	910	986	△76	△7.8	937	△27
	セグメント利益	28	42	△14	△34.3	39	△11
欧州	売上高	1,189	1,148	40	3.6	1,199	△10
	セグメント利益	19	22	△3	△16.4	28	△9
東アジア	売上高	1,115	1,227	△112	△9.2	1,140	△25
	セグメント利益	30	30	△0	△0.2	31	△1
南アジア・ オセアニア	売上高	906	918	△12	△1.4	906	-
	セグメント利益	32	37	△5	△13.8	33	△1
警備輸送	売上高	728	726	1	0.2	729	△1
	セグメント利益	△14	12	△26	-	△12	△2
重量品建設	売上高	502	477	24	5.1	500	2
	セグメント利益	60	45	14	32.7	51	9
物流 サポート	売上高	4,697	4,839	△142	△2.9	4,748	△51
	セグメント利益	119	127	△8	△6.9	129	△10

(億円未満切捨て)

#### ○前回予想からの修正点

- ・日本: 売上高、営業利益共に減額
- ・米州: 売上高、営業利益共に減額
- ・欧州: 売上高、営業利益共に減額
- ・東アジア: 売上高、営業利益共に減額
- ・南アジア: 売上高は据え置き。営業利益は減額
- ・警備輸送: 売上高、営業利益共に減額
- ・重量品建設: 売上高、営業利益共に増額
- ・物流サポート: 売上高、営業利益共に減額

## II. 2020年3月期 業績予想

### B セグメント別予想(修正後)

(単位: 億円)

セグメント	項目	上期実績	下期予想				
			2020/3 予想	2019/3 実績	増減額	10/31 予想	増減額
日本	売上高	6,103	6,092	6,410	△317	6,304	△212
	セグメント利益	205	234	321	△86	287	△53
米州	売上高	477	432	514	△82	459	△27
	セグメント利益	19	8	20	△11	19	△11
欧州	売上高	588	600	588	11	610	△10
	セグメント利益	12	6	15	△8	15	△9
東アジア	売上高	559	555	639	△83	580	△25
	セグメント利益	15	14	18	△4	15	△1
南アジア・ オセアニア	売上高	441	464	474	△9	464	-
	セグメント利益	15	16	17	△1	17	△1
警備輸送	売上高	364	363	366	△2	364	△1
	セグメント利益	△12	△1	9	△10	0	△2
重量品 建設	売上高	272	229	228	0	227	2
	セグメント利益	26	33	24	9	24	9
物流 サポート	売上高	2,283	2,413	2,553	△140	2,464	△51
	セグメント利益	57	61	70	△8	71	△10

(億円未満切捨て)

## II. 2020年3月期 業績予想

### C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	参考
燃油費単価変動による影響	営業利益 + <b>6.0</b> 億円 (費用減) ※4Q単四半期 △1.0億円(費用増) 3Q累計 +7.1億円(費用減)	1Qあたりの単価(前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>軽油 : 100.60円(104.09円/99.70円)</li> <li>ガソリン : 134.40円(137.30円/134.30円)</li> <li>船舶重油 : 53.60円(55.71円/51.60円)</li> </ul> ※SOX規制に対応する船舶重油の費用増は、含んでおりません。
為替による影響	売上高 △ <b>175.7</b> 億円 営業利益 △ <b>5.9</b> 億円 ※4Q単四半期 売上高 △71.4億円 営業利益 △2.4億円 3Q累計 売上高 △104.3億円 営業利益 △3.5億円	年間平均為替レート※(前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>USD : 109.00円(110.43円/108.80円)</li> <li>EUR : 122.00円(130.42円/121.50円)</li> <li>HKD : 13.90円(14.09円/13.80円)</li> <li>RMB : 15.70円(16.72円/15.70円)</li> </ul> ※「年間平均為替レート」は、参考値。 決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。
退職給付会計の数理差異償却額の増加	営業利益 △ <b>17.3</b> 億円 ※4Q単四半期 △4.3億円 3Q累計 △13億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △13.8億円</li> <li>警備輸送 : △3.0億円</li> <li>重量品建設 : △0.4億円</li> </ul>

## II. 2020年3月期 業績予想

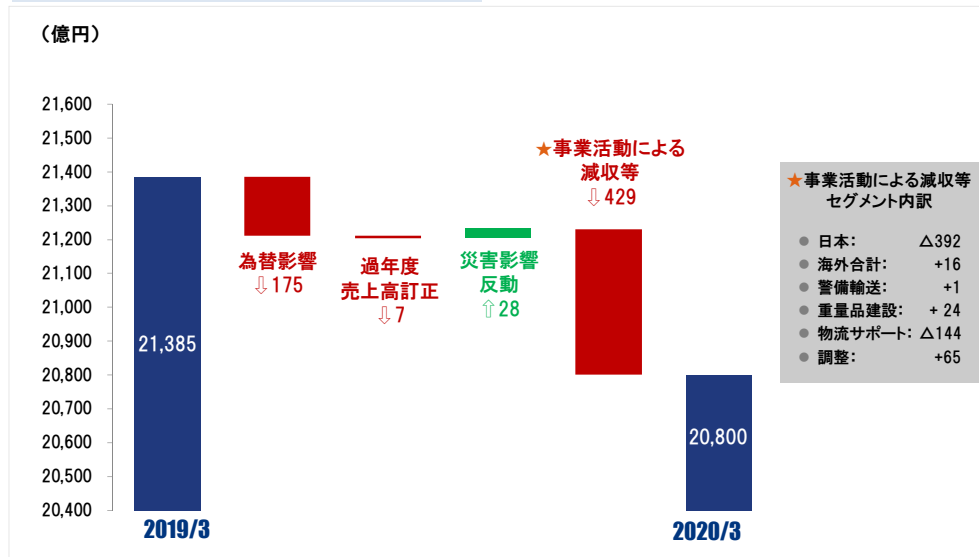
### C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

変動要素	連結業績への影響 (通期予想)	参考
災害による影響 (前年特殊要因)	営業利益 + 10.1 億円 ※4Q単四半期 - 億円 3Q累計 10.1 億円	(参考) 2019年3月期における影響 ・災害に伴うお客様工場の稼働停止等による輸送機会損失影響 △24.3億円 ・代行輸送等による通常以外の輸送対応 +14.1億円
社員制度改革に伴う増減	営業利益 △ 47.8 億円 ※4Q単四半期 △ 9.3 億円 3Q累計 △ 38.4 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 32.3 億円</li> <li>警備輸送 : △ 14.9 億円</li> <li>重量品建設 : △ 0.4 億円</li> </ul>
環境投資	営業利益 △ 4.0 億円 ※4Q単四半期 △ 1.4 億円 3Q累計 △ 2.6 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 4.0 億円</li> </ul>
賞与支給対象期間の変更の影響	営業利益 △ 46.3 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 35.4 億円(1Q)</li> <li>警備輸送 : △ 9.7 億円(1Q)</li> <li>重量品建設 : △ 1.1 億円(1Q)</li> </ul>
退職金規程の変更の影響	営業利益 + 10.5 億円 ※4Q単四半期 + 3.3 億円 3Q累計 + 7.2 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : 9.6 億円</li> <li>警備輸送 : 0.6 億円</li> <li>重量品建設 : 0.3 億円</li> </ul>
過年度売上高の過大処理訂正	売上高、営業利益 △ 7.8 億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 7.8 億円(2Q)</li> </ul>

## II. 2020年3月期 業績予想

### D 売上高・営業利益増減内訳

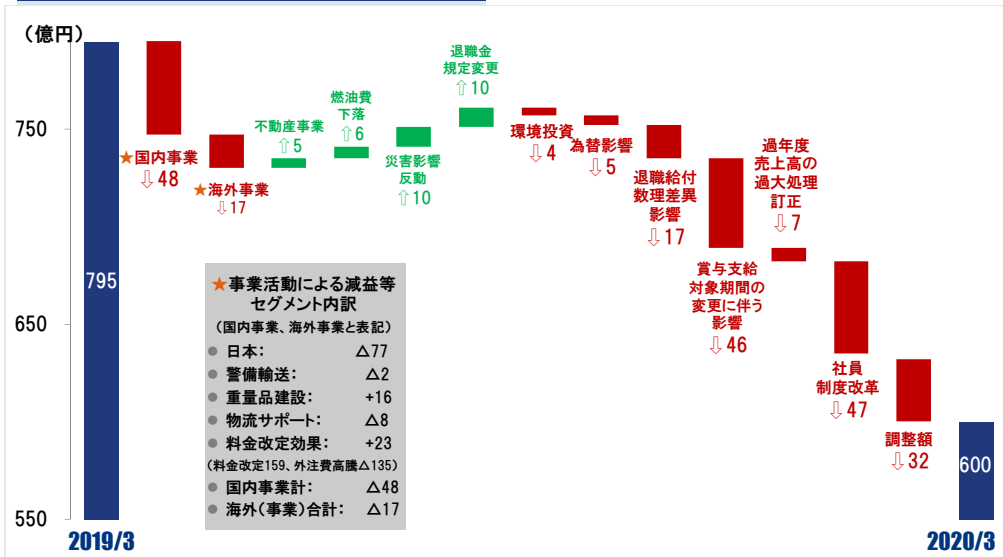
#### 1. 売上高



## II. 2020年3月期 業績予想

### D 売上高・営業利益増減内訳

#### 2. 営業利益



### III. 2020年3月期 セグメント概況

#### A 日本セグメント

1. 3Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	3,082	3,346	△264	△7.9	鉄道輸送については、台風19号による運休などの影響もあり減収。トラック輸送において、農産品などは順調に推移したものの、電機・電子関連、鉄鋼、自動車関連部品の荷動きが鈍化し減収。引越・移転事業では、単身パックなどの取扱い件数の減少があり減収。倉庫・保管庫事業は対前年で増収。
営業利益*	118(3.8)	188(5.6)	△69	△37.2	

#### 2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	3,025	3,077	6,103	3,082	3,010	6,092	12,196	・過年度売上高の過大処理訂正: [売上高・営業利益] △7(3Q累計) ・前年の災害影響反動: [売上高]+28(3Q累計) 【営業利益】+10(3Q累計)
営業利益*	73(2.4)	132(4.3)	205(3.4)	118(3.8)	115(3.9)	234(3.8)	440(3.6)	
項目	2019/3期 実績							見通し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	3,073	3,084	6,157	3,346	3,063	6,410	12,568	・燃油費単価の減少: [営業利益]+5(年間)、+6(3Q累計) ・退職金規程変更に伴う影響: [営業利益]+9(年間)、+6(3Q累計) ・退職給付数理差異影響: [営業利益]△13(年間)、△10(3Q累計) ・賞与支給対象期間の変更: [営業利益]△35(3Q累計) ・社員制度改革に伴う費用増: [営業利益]△32(年間)、 △25(3Q累計)
営業利益*	119(3.9)	118(3.8)	238(3.9)	188(5.6)	133(4.3)	321(5.0)	559(4.5)	
項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)							見通し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	△48	△6	△54	△264	△53	△317	△372	航空輸出フォワーディングの取扱い数量の減少幅は、 縮小見込み。 倉庫・保管庫事業は、堅調に推移する見通したが、その他の 事業は、荷動きの悪化により、取扱い減少が続く見通し。
営業利益	△1.6	△0.2	△0.9	△7.9	△1.7	△4.9	△3.0	

#### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	12,196	12,408	△212	6,103	6,196	△92	6,092	6,304	△212
営業利益*	440(3.6)	493(4.0)	△53	205(3.4)	186(3.0)	19	234(3.8)	287(4.6)	△53

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 参考資料

15

#### ○3Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・鉄道輸送については、台風19号による運休などの影響もあり減収。
- ・トラック輸送では、農産品などは順調に推移したものの電機・電子関連、鉄鋼、自動車関連部品の荷動きが鈍化し減収。
- ・引越・移転事業では、単身パックなどの取扱い件数の減少があり減収。
- ・倉庫・保管庫事業では、空坪対策に加えて顧客の旺盛な物流倉庫需要により対前年で増収。
- ・海運については、入札対応などで、獲得しているレーン数は、対前年で増加したものの、既存顧客を含めた実出荷数量の減少やターミナル業務の航路変更による取扱いの減少により減収。
- ・航空輸送は、輸出混載貨物で昨年取扱いのあった自動車関連貨物などの減少により減収。
- ・航空では、輸出混載貨物重量が、対前年でマイナス38.8%と減少。マーケットの下落率マイナス27.3%を上回ることとなった。  
前年の当社取扱いが、過去最高水準だった反動から率としては、大きく落とすこととなった。
- ・社員制度改革による人件費増、国内物流部門における料金改定、超勤削減などの費用削減効果は計画線でも推移したものの事業活動の売上減が大きく、減益。

#### ○通期予想概況

- ・前回予想に対して売上高、営業利益とも減額
- ・第4四半期に、アジア向けの電子部品、半導体関連の製造設備輸出の回復が見込まれるものの数量は、対前年を下回る見込み
- ・倉庫・保管庫事業は、引き続き堅調に推移すると見込み。
- ・引越・移転事業は、国内引越の件数増加や大規模移転案件を第4四半期に見込んでおり、前同並みの売上を予想。



### III. 2020年3月期 セグメント概況

#### B 米州セグメント

1. 3Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※ ( ) 内は営業利益率 (%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	219	251	△32	△12.8	自動車関連のお客様を中心に、航空輸出入が落ちこんだこと、さらに米国の中西部や東部を中心に、製造業のお客様の生産数量の減少や、顧客の販売不振による倉庫での物量減などがあり、これまで航空貨物の減少をカバーしていた海運輸出入・倉庫配送業務も厳しい状況。
営業利益※	7(3.4)	11(4.7)	△4	△37.5	

#### 2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	240	237	477	219	212	432	910	・為替影響: [売上高]△15(年間)、△3(3Q累計) 【営業利益】△0(年間)、△0(3Q累計)
営業利益※	8(3.6)	10(4.5)	19(4.0)	7(3.4)	1(0.6)	8(2.0)	28(3.1)	
項目	2019/3期 実績							見通し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	231	240	472	251	262	514	986	世界経済の減速、特に現地日系企業に由来する輸送需要が予想以上に低迷しており、厳しい状況が続く見通し。回復には更に時間を要すると想定。
営業利益※	8(3.7)	13(5.7)	22(4.7)	11(4.7)	8(3.3)	20(4.0)	42(4.3)	
項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	8	△3	5	△32	△50	△82	△76	
	3.7	△1.3	1.1	△12.8	△19.1	△16.0	△7.8	
営業利益	0	△3	△2	△4	△7	△11	△14	
	0.6	△22.1	△13.3	△37.5	△84.3	△57.3	△34.3	

#### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	910	937	△27	477	475	2	432	459	△27
営業利益※	28(3.1)	39(4.2)	△11	19(4.0)	20(4.2)	△0	8(2.0)	19(4.3)	△11

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 参考資料

16

#### ○3Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・自動車関連のお客様を中心に、航空輸出入が落ちこんだことから売上高が減少。
- ・米国の中西部や東部を中心に生産物流の取扱い減少や、顧客の販売不振による倉庫取り扱いで物量減。
- ・航空貨物の減少をカバーしてきた、海運輸出入・倉庫配送業務も厳しい状況

#### ○通期予想概況

- ・前回予想に対して売上高、営業利益とも減額
- ・さらなる景況感の悪化が鮮明となり下方に修正。

## III. 2020年3月期 セグメント概況

### C 欧州セグメント

1. 3Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※ ( ) 内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	294	274	19	7.1	フランコ・バーゴ社の中国での新規業務、およびトラコンフ社や、オランダ日通などの倉庫配送業務が順調に推移。 前年の航空スポット業務の反動に加え、人件費等の上昇もあり営業利益は横ばい。
営業利益※	4(1.4)	4(1.7)	Δ0	Δ8.9	

### 2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	298	289	588	294	305	600	1,189	・為替影響:【売上高】Δ86(年間)、Δ53(3Q累計) 【営業利益】Δ2(年間)、Δ1(3Q累計)
営業利益※	7(2.4)	4(1.7)	12(2.1)	4(1.4)	2(0.8)	6(1.1)	19(1.6)	
項目	2019/3期 実績							見通し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	285	274	559	274	313	588	1,148	世界経済の減速等による景気の下押し要因が顕在化。 航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要は、予想以上に低迷。 トラコンフ社において、新規顧客に関する立ち上げ費用が発生する見込みであり、営業利益は下方修正。
営業利益※	5(2.0)	1(0.6)	7(1.3)	4(1.7)	10(3.5)	15(2.6)	22(2.0)	
項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	13	15	28	19	Δ7	11	40	
	4.8	5.6	5.2	7.1	Δ2.5	2.0	3.6	
営業利益	1	3	5	Δ0	Δ8	Δ8	Δ3	
	30.7	202.8	69.7	Δ8.9	Δ76.6	Δ56.5	Δ16.4	

### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	1,189	1,199	Δ10	588	595	Δ6	600	610	Δ10
営業利益※	19(1.6)	28(2.3)	Δ9	12(2.1)	13(2.2)	Δ0	6(1.1)	15(2.6)	Δ9

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 ご参考資料

17

#### ○3Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・FV(フランコ・バーゴ)社の中国での新規業務、およびトラコンフ社や、ドイツやオランダなどの倉庫配送業務が順調に推移。
- ・航空輸出の取り扱い減に加え、人件費等の上昇もあり、営業利益は前年並み。

#### ○通期予想概況

- ・前回予想に対して売上高、営業利益とも減額
- ・前年にあった航空輸出での自動車関連などのスポット案件の減少、また、トラコンフ社における新規顧客の立ち上げ費用が発生する見込み。
- ・通期見通しは、前回予想から、売上高および営業利益を下方に修正。

## III. 2020年3月期 セグメント概況

### D 東アジアセグメント

1. 3Q単四半期実績 (単位:億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	281	308	△26	△8.7	中国発の海運輸出が引き続き堅調に推移。自動車輸送も中国で既存顧客の工作機械、光学関連などの国内配送業務の取扱いが好調。航空輸出は、依然として低調で推移。
営業利益※	8(3.2)	8(2.6)	0	11.5	

### 2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	275	283	559	281	274	555	1,115	・為替影響:[売上高]△66(年間)、△37(3Q累計) [営業利益]△1(年間)、△1(3Q累計)
営業利益※	6(2.3)	9(3.3)	15(2.8)	8(3.2)	5(2.0)	14(2.6)	30(2.7)	

項目	2019/3期 実績							見通し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	283	304	588	308	331	639	1,227	事業環境の悪化が見込まれ、中国を中心として依然として航空輸出の回復は厳しい。上記を踏まえ、前回予想から売上高および営業利益を下方修正。
営業利益※	3(1.4)	7(2.5)	11(2.0)	8(2.6)	10(3.1)	18(2.9)	30(2.5)	

項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想
売上高	△8 △2.8	△21 △6.9	△29 △5.0	△26 △8.7	△56 △17.1	△83 △13.0	△112 △9.2
営業利益	2 63.3	1 20.2	4 34.5	0 11.5	△5 △48.2	△4 △22.1	△0 △0.2

### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	1,115	1,140	△25	559	554	5	555	580	△25
営業利益※	30(2.7)	31(2.7)	△1	15(2.8)	14(2.5)	1	14(2.6)	15(2.6)	△1

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 参考資料

18

#### ○3Q単四半期の概況(減収、減益)

・中国発の海運輸出が引き続き堅調に推移し、自動車輸送も、中国で既存顧客の工作機械、光学関連などの国内配送業務の取扱いが好調。

・航空輸出は、依然として低調に推移

・香港日通における航空利用費の効率化による費用の抑制が継続し、韓国・台湾などが好調を維持した結果、営業利益は、現地通貨ベースで、増益。

#### ○通期予想概況

・前回予想に対して売上高、営業利益とも減額

・事業環境の悪化が見込まれることや、中国を中心に、依然として、航空輸出の回復は厳しく、見通しは、前回予想から、売上高および営業利益を下方に修正。

## III. 2020年3月期 セグメント概況

### E 南アジア・オセアニアセグメント

(単位:億円、%)  
※( )内は営業利益率(%)

#### 1. 3Q単四半期実績

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	230	236	△6	△2.6	倉庫配送業務において、自動車関連やアパレル関連を中心に順調に推移した。また海運事業も前四半期に続き堅調に推移。一方で航空輸出がスポットの反動減の影響により減収。費用面は、人件費等固定費が増加傾向。
営業利益※	8(3.7)	10(4.3)	△1	△16.4	

#### 2. 単四半期実績・見直し推移

項目	2020/3期 実績・見直し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	219	221	441	230	234	464	906	・為替影響:[売上高]△8(年間)、△10(3Q累計) 【営業利益】△0(年間)、△0(3Q累計)
営業利益※	7(3.4)	8(3.8)	15(3.6)	8(3.7)	7(3.3)	16(3.5)	32(3.5)	
項目	2019/3期 実績							見直し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	218	226	444	236	237	474	918	倉庫配送、自動車関連、アパレル関連の取扱いは、継続する見込み。
営業利益※	8(4.0)	10(4.7)	19(4.3)	10(4.3)	7(3.2)	17(3.7)	37(4.0)	
項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	1 0.8	△5 △2.2	△3 △0.8	△6 △2.6	△3 △1.4	△9 △2.0	△12 △1.4	
営業利益	△1 △14.5	△2 △21.2	△3 △18.2	△1 △16.4	0 0.9	△1 △9.0	△5 △13.8	

#### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	906	906	-	441	439	2	464	464	-
営業利益※	32(3.5)	33(3.6)	△1	15(3.6)	20(4.6)	△4	16(3.5)	17(3.7)	△1

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 参考資料

19

#### ○3Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・倉庫配送業務において、自動車関連やアパレル関連を中心に順調に推移。
- ・海運事業も、第2四半期に続き堅調に推移。
- ・航空輸出の減収幅が大きく全体で減収。
- ・費用面では、シンガポール日通など、これまで業績が厳しかった現地法人に改善はみられるものの、全体としては、人件費等の固定費が増加傾向にあり、減益。

#### ○通期予想概況

- ・前回予想から、売上高は据え置き、営業利益は下方に修正

## III. 2020年3月期 セグメント概況

### F 警備輸送セグメント

1. 3Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※ ( ) 内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	182	181	1	0.6	SD機の販売増により、売上高は微増。 金融機関の店舗統合などによる設定便の減や社員制度改革の影響による費用増の影響があり、減益。
営業利益※	△2(△1.3)	3 (1.8)	△5	—	

### 2. 単四半期実績・見直し推移

項目	2020/3期 実績・見直し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	184	180	364	182	181	363	728	・燃油費単価の減少:【営業利益】+0(年間)、+1(3Q累計) ・退職金規程変更に伴う影響:【営業利益】+0(年間)、+0(3Q累計) ・退職給付数差異影響:【営業利益】△3(年間)、△2(3Q累計) ・賞与支給対象期間の変更に伴う影響:【営業利益】△9(3Q累計) ・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△14(年間)、 △12(3Q累計)
営業利益※	△11(△6.5)	△0(△0.5)	△12(△3.5)	△2(△1.3)	1(0.6)	△1(△0.3)	△14(△1.9)	
項目	2019/3期 実績							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	180	179	359	181	185	366	726	
営業利益※	3 (1.8)	△0(△0.2)	2 (0.8)	3 (1.8)	6 (3.3)	9 (2.6)	12(1.7)	
項目	前年同期対比(上段:増減額/下段:増減率)							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	3	0	4	1	△3	△2	1	
	2.0	0.4	1.2	0.6	△2.1	△0.8	0.2	
営業利益	△15	△0	△15	△5	△4	△10	△26	
	-	-	-	-	△81.5	-	-	
項目	見直し概況							
	社員制度改革による人件費は大幅に上昇。料金改定交渉、設定便の効率化によるコスト削減の見直しを進めているが、10月31日公表時点から営業利益は微減となる見直し。							

### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	728	729	△1	364	368	△3	363	364	△1
営業利益※	△14 ( △1.9 )	△12 ( △1.6 )	△2	△12 ( △3.5 )	△19 ( △5.2 )	6	△1 ( △0.3 )	0 ( 0.2 )	△2

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 参考資料

20

#### ○3Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・第2四半期から傾向に大きな変化はなくSD機(Safety Deposit機)の販売により、増収。
- ・金融機関の店舗統合などによる、設定便の減少や社員制度改革による人件費の上昇により減益

#### ○通期予想概況

- ・前回予想に対して売上高、営業利益とも減額

## III. 2020年3月期 セグメント概況

### G 重量品建設セグメント

1. 3Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※ ( )内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	141	120	21	17.8	重電関連の取扱いは減少するも、風力発電関係の輸送・据え付け、シャットダウンメンテナンス工事の取扱いが伸長。海外工事も前同並みに推移したことにより増益。
営業利益※	23(16.9)	15(13.0)	8	53.8	

### 2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	133	138	272	141	87	229	502	・燃油費単価の減少:【営業利益】+0(年間)、+0(3Q累計) ・退職金規程変更に伴う影響:【営業利益】+0(年間)、+0(3Q累計) ・退職給付数理差異影響:【営業利益】△0(年間)、△0(3Q累計) ・賞与支給対象期間変更に伴う増支出:【営業利益】△1(3Q累計) ・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△0(年間)、△0(3Q累計)
営業利益※	10(7.9)	16(11.6)	26(9.8)	23(16.9)	9(10.7)	33(14.5)	60(12.0)	
項目	2019/3期 実績							見通し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	124	124	248	120	108	228	477	引き続きプラント関連は好調の見通しだが、重電関連、火力関連の取扱いは減少する見通し。第3単四半期に比べ、案件規模は縮小する見込み。
営業利益※	10(8.6)	10(8.2)	20(8.4)	15(13.0)	8(8.0)	24(10.6)	45(9.5)	
項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	9 7.8	14 11.3	23 9.6	21 17.8	△20 △19.2	0 0.3	24 5.1	
営業利益	△0 △0.5	5 57.1	5 27.7	8 53.8	0 7.3	9 37.1	14 32.7	

### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	502	500	2	272	270	2	229	227	2
営業利益※	60(12.0)	51(10.2)	9	26(9.8)	22(8.1)	4	33(14.5)	24(10.7)	9

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 ご参考資料

21

#### ○3Q単四半期の概況(増収、増益)

- ・重電関連の取扱いは減少したものの風力発電関係の輸送・据え付け、シャットダウンメンテナンス工事などの取扱いがいずれも伸長

#### ○通期予想概況

- ・売上高、営業利益ともに前回予想から上方に修正

## III. 2020年3月期 セグメント概況

### H 物流サポートセグメント

#### 1. 3Q単四半期実績

(単位:億円、%)  
※( )内は営業利益率(%)

項目	2020/3期 実績	前年同期対比			3Q概況
		2019/3期	増減額	増減率	
売上高	1,198	1,281	△82	△6.5	石油部門、LPガス部門における販売単価低下、LS事業部における、米中貿易摩擦等の影響による主要取引先の取扱数量減少、並びに物流機器販売の減少により、減収。
営業利益※	27(2.3)	33(2.6)	△6	△18.8	

#### 2. 単四半期実績・見通し推移

項目	2020/3期 実績・見通し							特殊要因
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	1,145	1,138	2,283	1,198	1,214	2,413	4,697	・為替影響:[売上高]+2(年間)、+0(3Q累計) 【営業利益】+0(年間)、+0(3Q累計)
営業利益※	27(2.4)	30(2.7)	57(2.5)	27(2.3)	33(2.8)	61(2.5)	119(2.5)	
項目	2019/3期 実績							見通し概況
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	1,115	1,170	2,285	1,281	1,272	2,553	4,839	物流商品、国際部門の取り扱い減により減収の見込み。石油は販売単価の持ち直しにより対前同増収の見通し。第4四半期では、前同対比で減益の見通し。
営業利益※	26(2.4)	30(2.6)	57(2.5)	33(2.6)	36(2.9)	70(2.7)	127(2.6)	
項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q予想	下期予想	通期予想	
売上高	29 2.7	△32 △2.8	△2 △0.1	△82 △6.5	△57 △4.5	△140 △5.5	△142 △2.9	
営業利益	0 0.8	△0 △0.2	0 0.3	△6 △18.8	△2 △7.1	△8 △12.7	△8 △6.9	

#### 3. 業績予想推移

項目	通期業績予想比較			上期業績予想比較			下期業績予想比較		
	1/31予想	10/31予想	増減額	実績	7/31予想	増減額	1/31予想	10/31予想	増減額
売上高	4,697	4,748	△51	2,283	2,366	△82	2,413	2,464	△51
営業利益※	119(2.5)	129(2.7)	△10	57(2.5)	58(2.5)	△0	61(2.5)	71(2.9)	△10

Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 参考資料

22

#### ○3Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・日通キャピタルにおけるロジスティクスファイナンス業務が一巡。
- ・日通商事において、石油類の販売単価の下落により売上が減少したほか、輸出梱包業務などのロジスティクス・サポート事業は依然として厳しい状況

#### ○通期予想概況

- ・前回予想に対して売上高、営業利益とも減額

# 補足資料

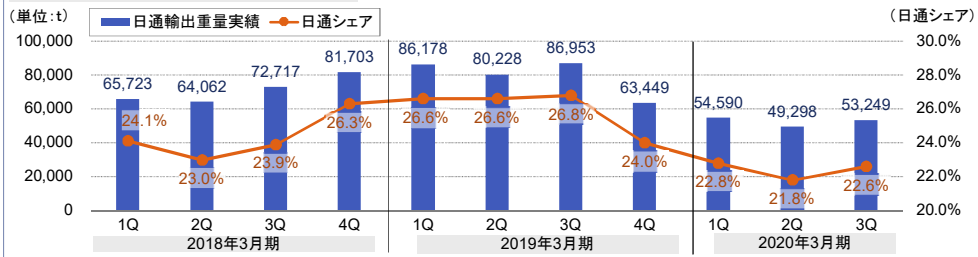
本資料に掲載している情報は、各項目の傾向を示しておりますが、各種決算処理を行う前のデータを使用しているため、項目ごとの合計数値は、決算数値と異なる場合があります。

当事業の現況をご理解いただくための参考資料として作成しておりますので、その旨、ご承知おきください。

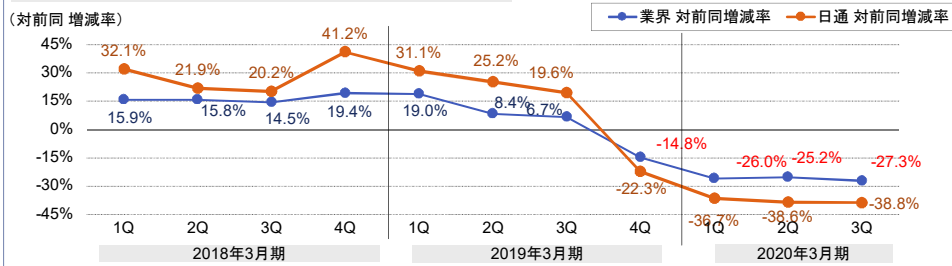


## (補足1) 日本発 輸出航空貨物 重量動向

### 日本発 輸出航空貨物 重量動向

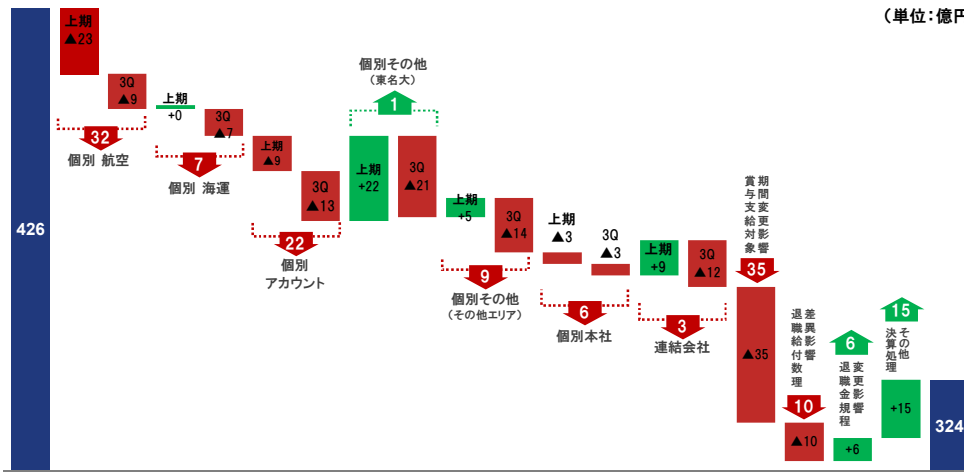


### 日本発 輸出航空貨物 対前同増減率推移・比較



(補足2) 日本セグメント内 事業別営業利益増減(FY2019 3Q累計)

(単位:億円)



2019/3  
3Q累計

(注)

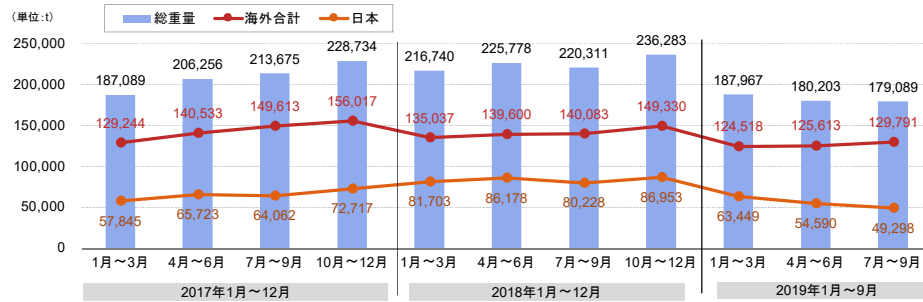
- 記載している参考数値は、当社経理システムで取得可能なデータに基づき、当社が合理的と判断する方法で算出しておりますが、2016年3月期までの輸送モード別の報告セグメントとは、異なります。
- 「個別 航空」は、個別の内、利用航空運送事業及び付随する事業を主に取り扱う支店の合計で、アカウントマネジメントに特化した支店は除きます。
- 「個別 海運」は、個別の内、海上運送事業、港湾運送事業及び付随する事業を主に取り扱う支店の合計で、アカウントマネジメントに特化した支店は除きます。
- 「個別 アカウント」は、東京、名古屋、大阪に配置しているアカウントマネジメントに特化した4支店で、航空、海運、自動車、鉄道、倉庫等を含んでおります。
- 「個別 その他」は、自動車、鉄道、倉庫等を主に取り扱う支店の合計です。
- 「個別 本社」には、個別本社の費用のうち、日本セグメントに該当する部分を抽出しております。

2020/3  
3Q累計

(補足3) 輸出貨物動向(航空)

(単位:t)

発地地域名	2017年					2018年					2019年				
	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	年間計	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	年間計	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	年間計
日本	57,845	65,723	64,062	72,717	260,347	81,703	86,178	80,228	86,953	335,062	63,449	54,590	49,298		
米州	18,610	21,729	20,304	20,496	81,139	21,149	22,915	22,532	21,193	87,789	19,868	19,718	18,490		
欧州	28,592	30,992	32,292	38,935	130,811	29,479	30,638	31,618	37,874	129,609	29,856	29,131	29,067		
東アジア	40,917	45,648	46,197	48,532	181,294	40,761	42,084	41,122	45,847	169,814	35,258	36,883	38,381		
南アジア・オセアニア	41,124	42,164	50,819	48,053	182,160	43,648	43,963	44,810	44,416	176,837	39,535	39,881	43,853		
海外合計	129,244	140,533	149,613	156,017	575,404	135,037	139,600	140,083	149,330	564,050	124,518	125,613	129,791		
総重量	187,089	206,256	213,675	228,734	835,751	216,740	225,778	220,311	236,283	899,112	187,967	180,203	179,089		



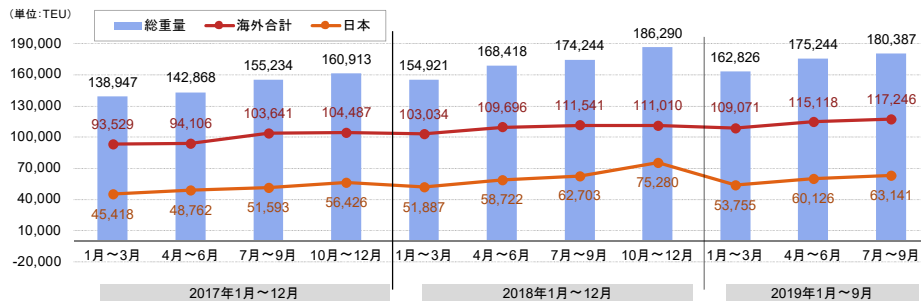
Copyright © 2020 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期 第3四半期決算説明 参考資料

(補足4) 輸出貨物動向(海運)

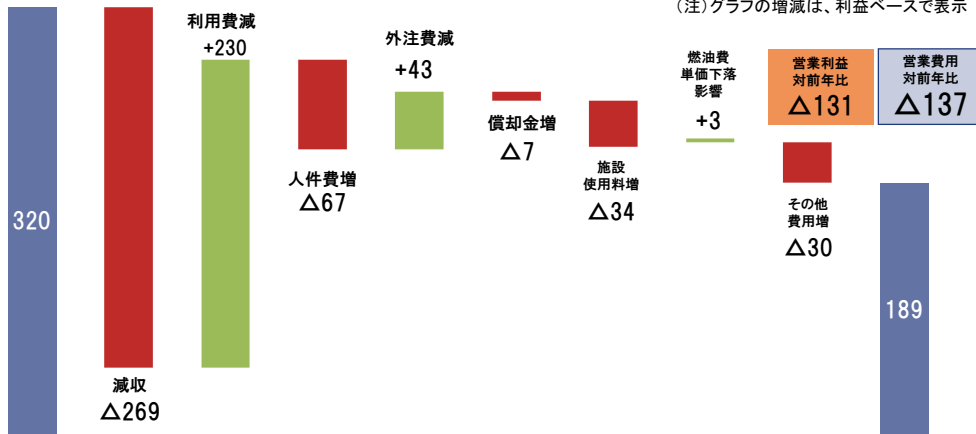
(単位:TEU)

発地地域名	2017年					2018年					2019年				
	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	年間計	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	年間計	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	年間計
日本	45,418	48,762	51,593	56,426	202,199	51,887	58,722	62,703	75,280	248,592	53,755	60,126	63,141		
米州	8,581	8,333	8,285	9,615	34,815	8,982	9,807	9,006	9,637	37,431	9,157	9,539	8,760		
欧州	12,320	10,441	11,330	12,063	46,153	11,745	13,663	11,067	11,173	47,648	10,943	12,330	11,932		
東アジア	47,411	49,142	53,948	52,030	202,531	52,653	56,702	59,401	58,141	226,898	59,122	62,103	62,232		
南アジア・オセアニア	25,218	26,189	30,079	30,779	112,264	29,653	29,524	32,067	32,060	123,304	29,847	31,145	34,321		
海外合計	93,529	94,106	103,641	104,487	395,763	103,034	109,696	111,541	111,010	435,281	109,071	115,118	117,246		
総重量	138,948	142,867	155,234	160,913	597,962	154,921	168,418	174,244	186,290	683,873	162,826	175,244	180,387		



(補足5) 個別費用増減(FY2019 3Q累計)

(単位:億円)  
(注)グラフの増減は、利益ベースで表示



2019/3 3Q累計		(費用ベースで表示)		2020/3 3Q累計	
各種費用詳細(3Q単四半期)				各種費用詳細(3Q累計)	
人件費増	+17(+2.9%)	外注費減	△61(△4.9%)	利用費減	△129(△29.9%)
人件費	+17(+2.9%)	備車費	△16(△3.0%)	鉄道利用費	△4(△3.7%)
		下請費	△48(△7.0%)	船舶利用費	△2(△3.0%)
		作業人材派遣費	+2(+8.3%)	航空利用費	△122(△52.4%)
				備車費	△10(△0.6%)
				下請費	△35(△1.8%)
				作業人材派遣費	+2(+2.6%)

## (補足6) イタリアでの3社経営統合

3社のノウハウと日通グループネットワークの一体化により、  
重点産業のアパレル(ファッションロジスティクス分野)を軸に  
ライフスタイル産業への拡販を図る



***We Find the Way***



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。